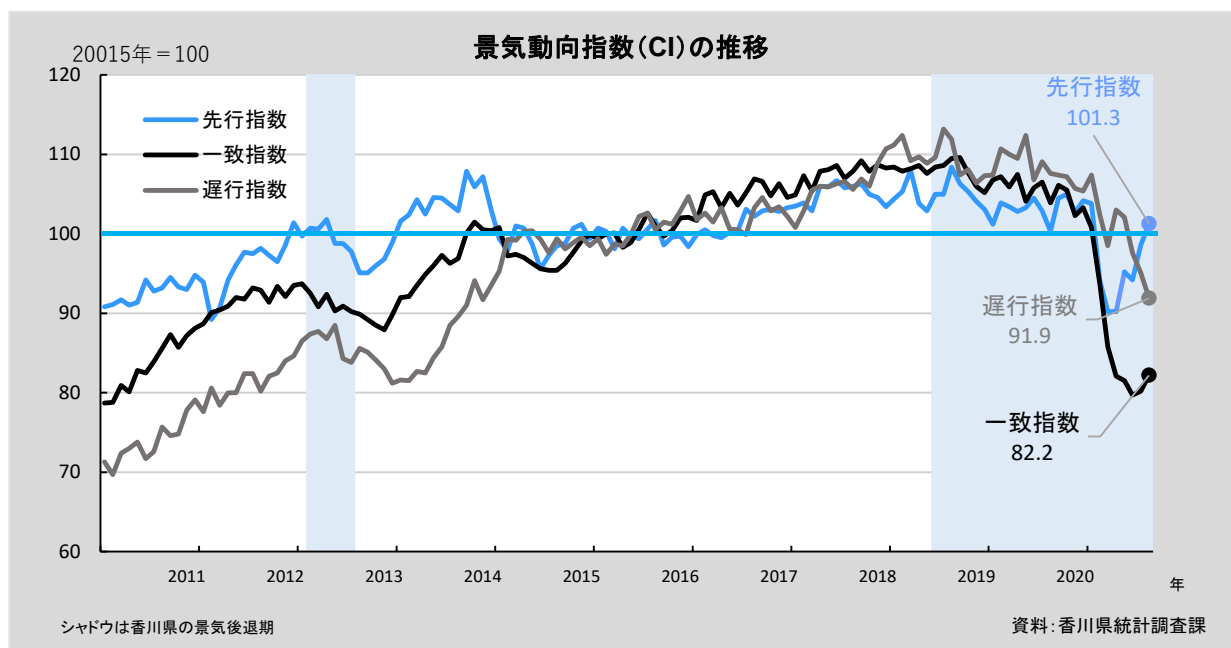


香川県内経済の動き

10月～11月

概況	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響で弱い動きが続いているが、持ち直しつつある。
個人消費	持ち直しの動きが続いている。
住宅投資	減少している。
公共投資	高水準で推移している。
生産活動	持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	求人減により弱い動きとなっている。
貿易	輸出、輸入ともに減少している。
観光	弱いながらも、持ち直しの動きがみられる。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月連続上昇



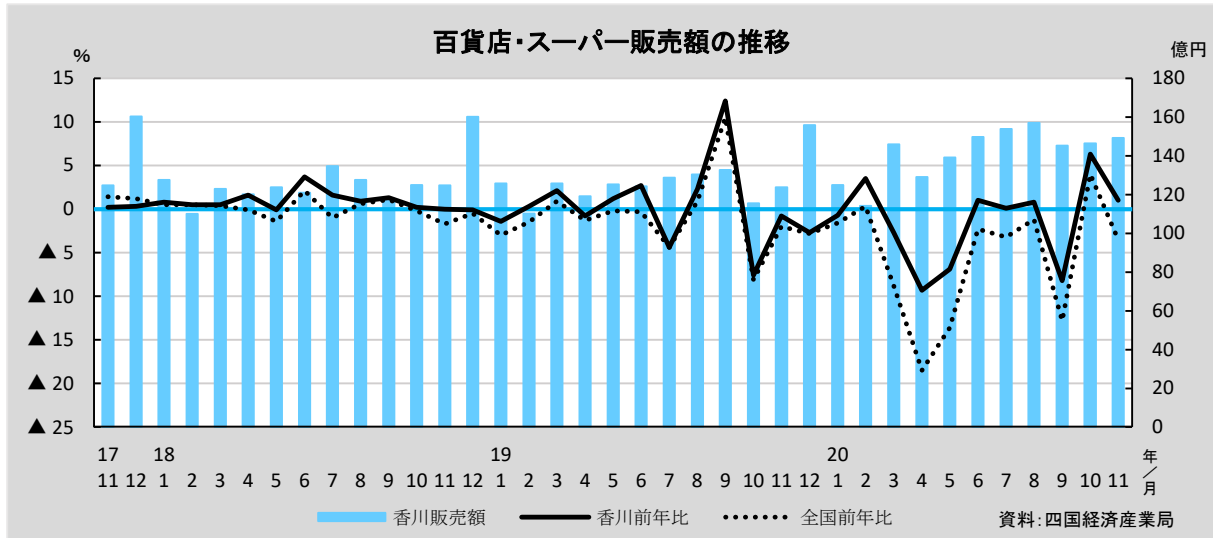
景気の現状をみると、10月のCI一致指数は82.2（前月比+2.0ポイント）と2カ月連続で上昇。CI先行指数は101.3（前月比+2.7ポイント）と2カ月連続で上昇。CI遅行指数は91.9（同▲3.2ポイント）と4カ月連続で下降。

景気の先行きを示す先行系列の個別指標では、新規求人数、鉱工業在庫率指数、乗用車新車登録台数等が上昇に寄与したことにより、前月から2.7ポイント上昇。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用景気指標	1 新規求人数	1.66	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.46	1 常用雇用指数	0.02
	2 乗用車新車登録台数	0.58	2 有効求人倍率	0.59	2 有効求職者数	▲ 0.53
	3 鉱工業在庫率指数	0.61	3 所定外労働時間指数	0.32	3 消費者物価指数	▲ 0.87
	4 生産財生産指数	0.47	4 鉱工業生産指数	0.10	4 家計消費支出	1.21
	5 新設住宅着工戸数	▲ 0.73	5 鉱工業出荷指数	0.51	5 鉱工業在庫指数	▲ 1.78
	6 金融機関貸出残高	0.29	6 建築着工床面積	▲ 0.40	6 法人事業税調定額	▲ 1.00
	7 消費者態度指数	0.15	7 百貨店・スーパー 既存店販売額	1.31	7 第3次産業活動指数	0.03

●百貨店・スーパー販売額

2カ月連続増加 ↑

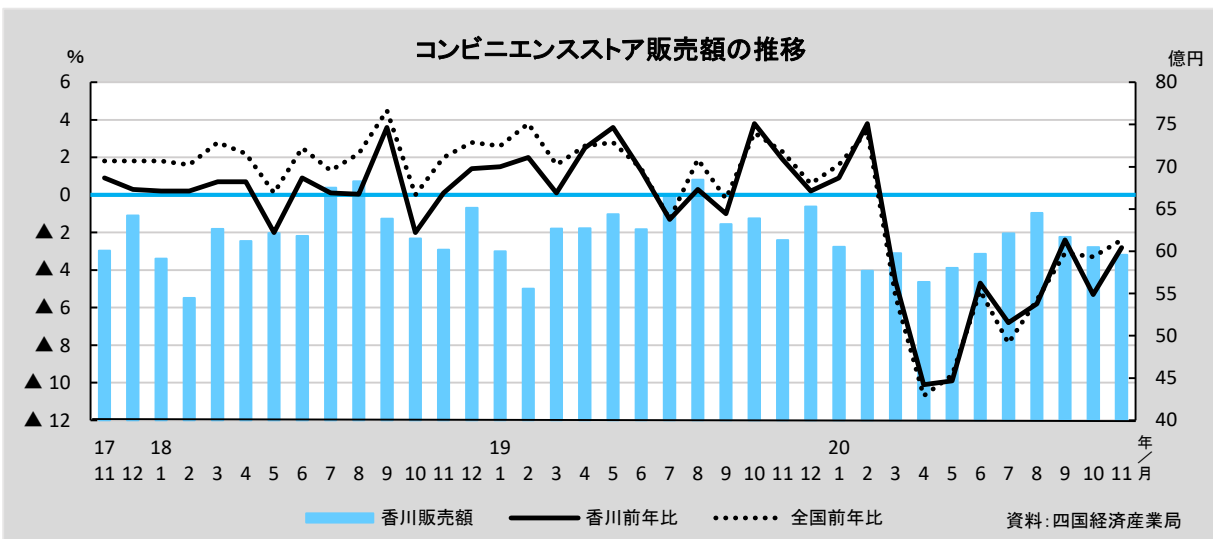


2020/11月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	124,854	59,731	1,066,303	2,604	7,674	96,713	133,062	805	1,491,746
前年同月比(%)	▲ 13.8	1.2	1.3	▲ 1.1	▲ 12.1	27.1	2.2	▲ 9.2	1.0

11月の百貨店・スーパー全店(84店)の販売額は149.2億円で前年同月比+1.0%となった。内食需要が好調で、飲食料品・家庭用品が伸び2カ月連続で増加した。品目別にみると、「家庭用品」は台所用消耗品が好調に推移し前年同月比+27.1%、「飲食料品」は生鮮食品や冷凍食品などが好調で同+1.3%となった。一方、「衣料品」は気温高などで冬物衣料全般の動きが鈍く同▲13.8%となった。

●コンビニエンスストア販売額

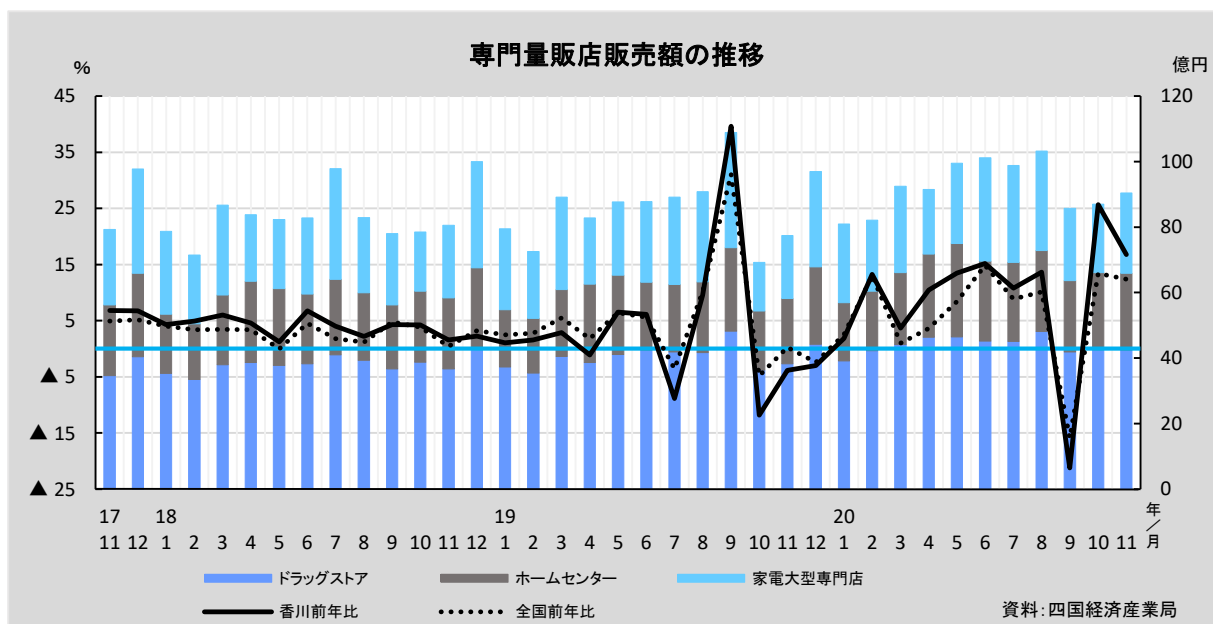
9カ月連続減少 ↓



11月のコンビニエンスストア全店(409店)の販売額は59.6億円で、前年同月比▲2.8%となった。外出自粛による来店客数の減少で、ファストフードなどの動きが鈍く9カ月連続の減少となった。

● 専門量販店販売額

2 カ月連続増加

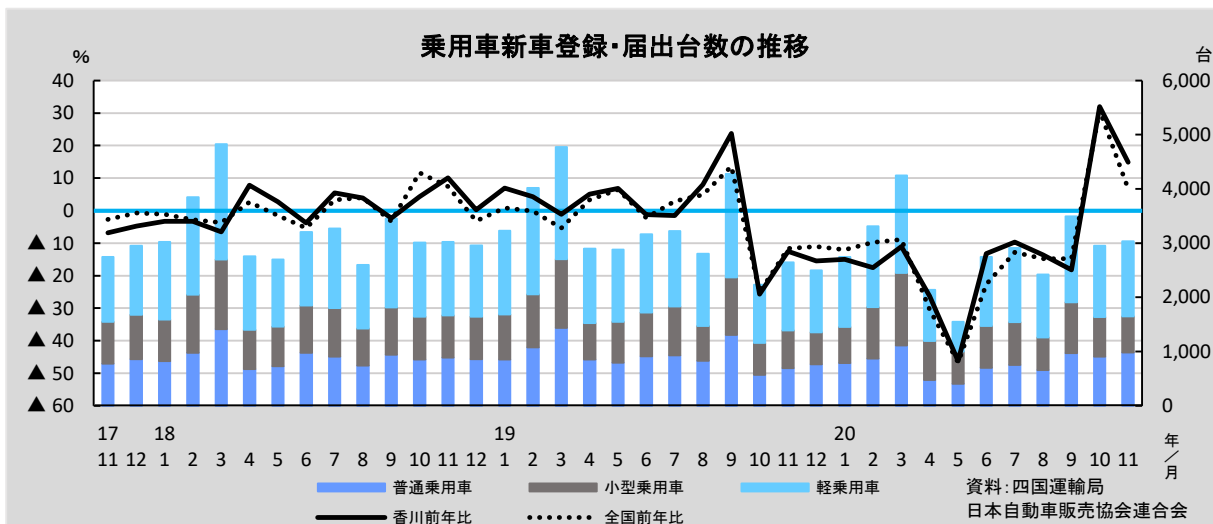


11月の専門量販店全店（201店）の販売額は90.5億円で、前年同月比+16.8%と2カ月連続で増加した。

業態別にみると、AV家電などが堅調に推移し**家電大型専門店**（29店）の販売額は、24.5億円で前年同月比+27.2%となった。マスク、除菌剤、化粧品などが堅調に推移した**ドラッグストア**（128店）の販売額は、42.5億円で同+11.0%。**ホームセンター**（44店）はDIY用具、園芸用品などが好調で、販売額は23.4億円で同+17.8%となった。

● 乗用車新車販売台数

2 カ月連続増加



11月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は3,037台で、前年同月比+14.9%と2カ月連続で増加となった。

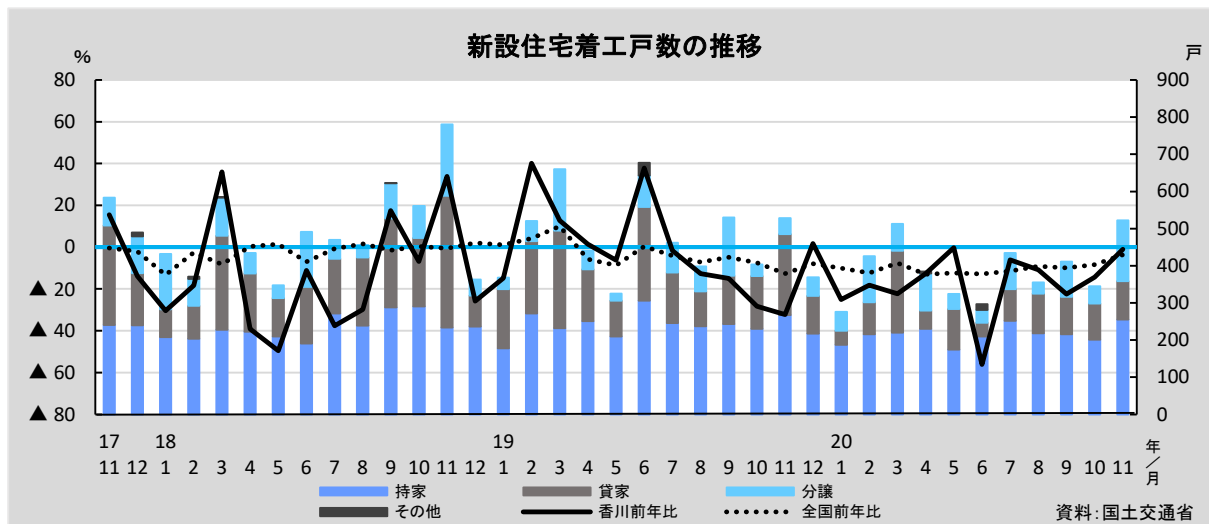
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比+41.2%、小型乗用車で同▲3.7%、軽乗用車で同+10.6%となった。

住宅投資

減少している

●新設住宅着工

11カ月連続減少 ↓



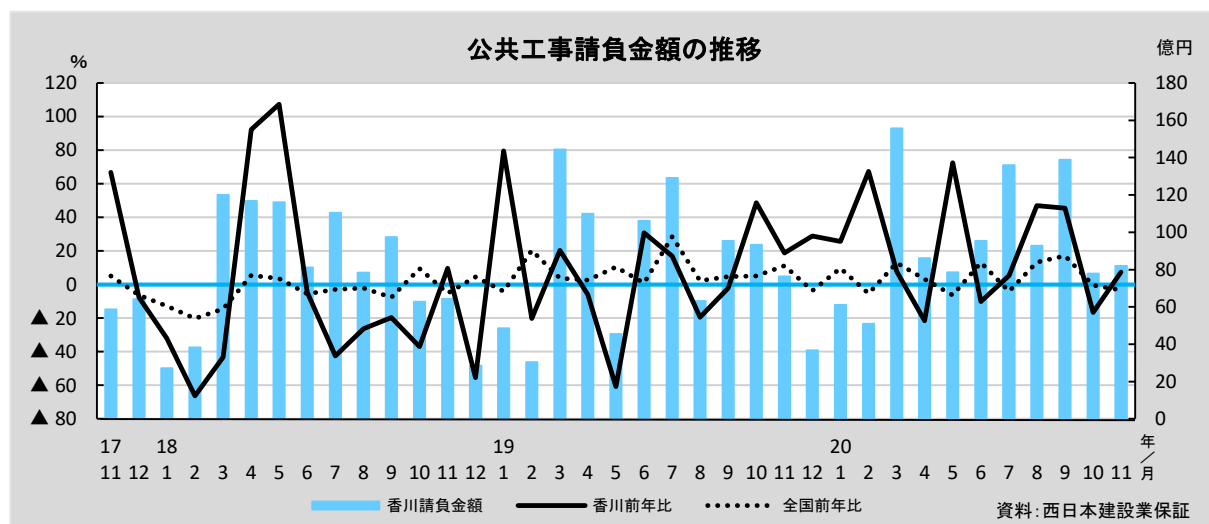
11月の新設住宅着工戸数は522戸で、前年同月比▲1.1%と、11カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲4.5%、**貸家**で同▲52.3%、**分譲住宅**で同▲279.1%となった。

公共投資

高水準で推移している

●公共工事請負金額

2カ月ぶり増加 ↑



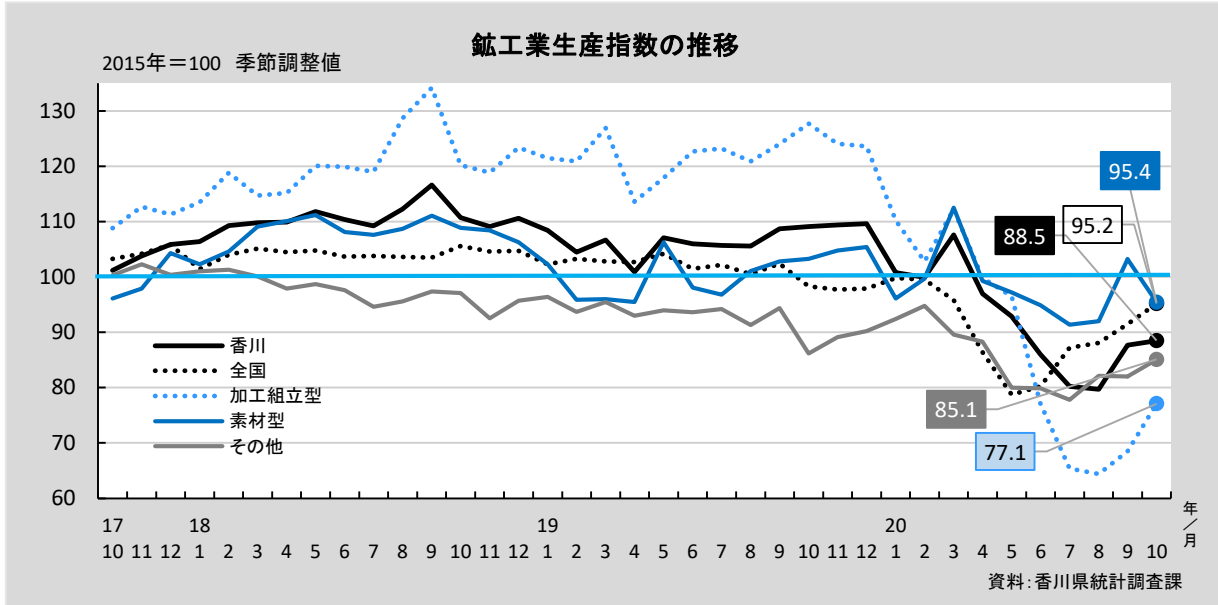
11月の公共工事請負金額は81.9億円で、前年同月比+7.3%と2カ月ぶりに増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+78.7%、**県**で同+48.1%、**市町**で同▲44.6%となった。4～11月の年度累計では前年同期比9.5%増加している。

生産活動

持ち直しの動きがみられる

● 鉱工業生産指数

2 カ月連続上昇 ↑



10月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は88.5（前月87.7）となり、2カ月連続で上昇した。

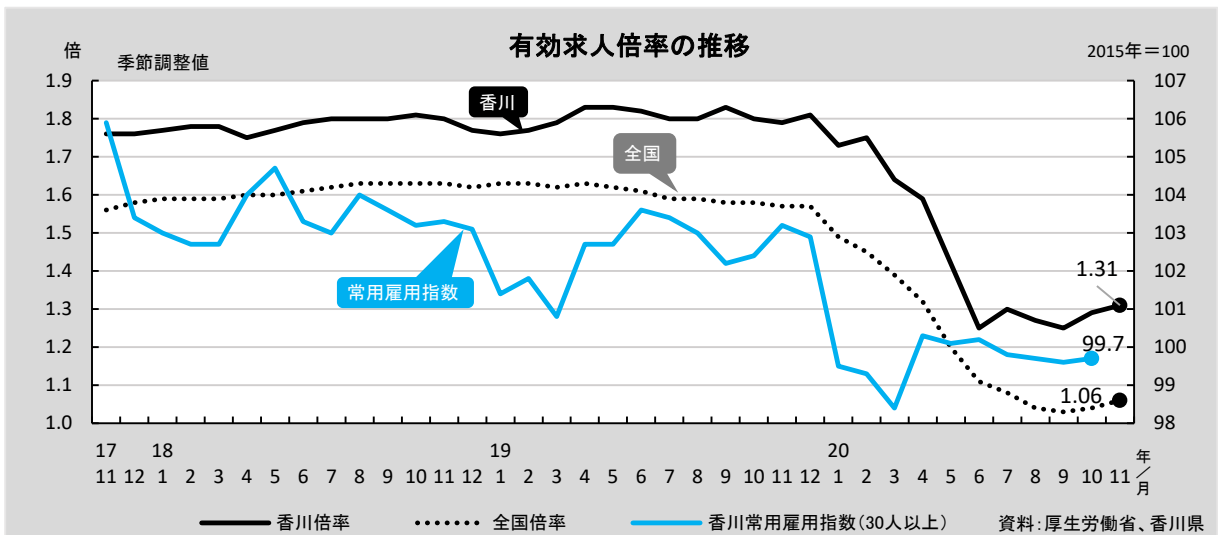
業種別では、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーン・ころ軸受）は前月比+23.7%、電気機械工業（半導体集積回路）は同+9.2%と上昇した。一方、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品）は同▲30.1%と低下した。

雇用情勢

求人減により弱い動きとなっている

● 有効求人倍率

2 カ月連続上昇 ↑



11月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.31倍（全国4位）と前月より0.02ポイント上昇した。

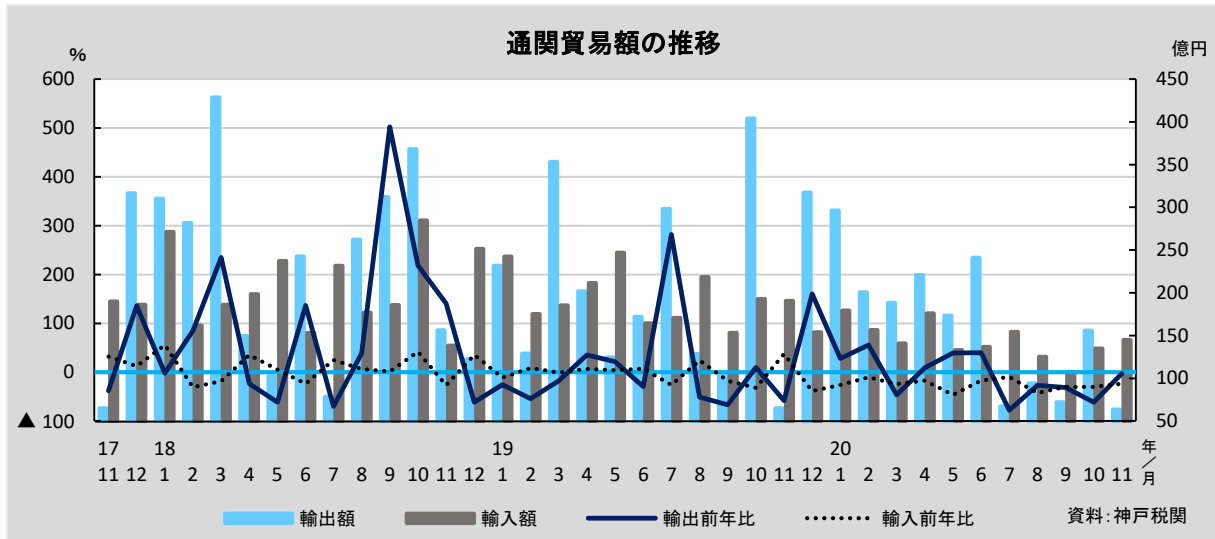
新規求人（原数値：前年同月比）は、建設業等で増加し、製造業、宿泊業・飲食サービス業等で減少となり、全体で▲14.3%と11カ月連続で減少した。

10月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、99.7となり、前年同月比は15カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.05
事務的職業	0.47
販売の職業	1.89
サービスの職業	3.00
生産工程の職業	1.74
輸送・機械運転の職業	2.03
建設・採掘の職業	6.35
運搬・清掃・包装等の職業	0.93

貿易

輸出、輸入ともに減少している



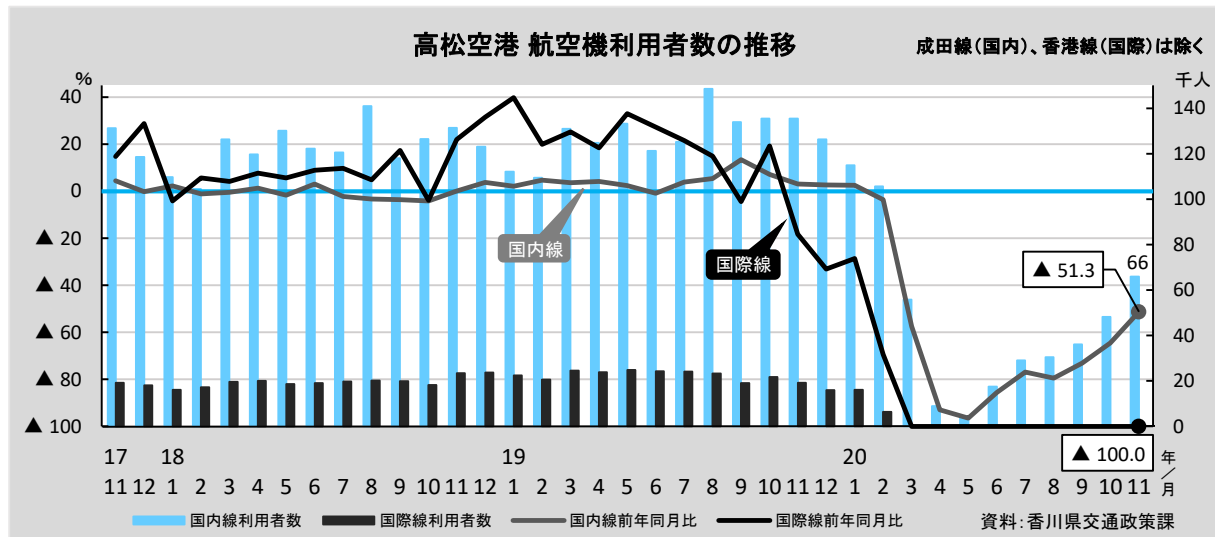
11月の輸出額は前年同月比▲2.6%の63.3億円、輸入額は同▲23.8%の145.1億円となり、差し引き81.8億円の入超となっている。

輸入額減の主因は、石炭輸入額が前年同月比▲22.8%の61億円となったためである。

交通

国内線は10カ月連続減少、国際線は9カ月連続全面運休

●高松空港旅客輸送実績

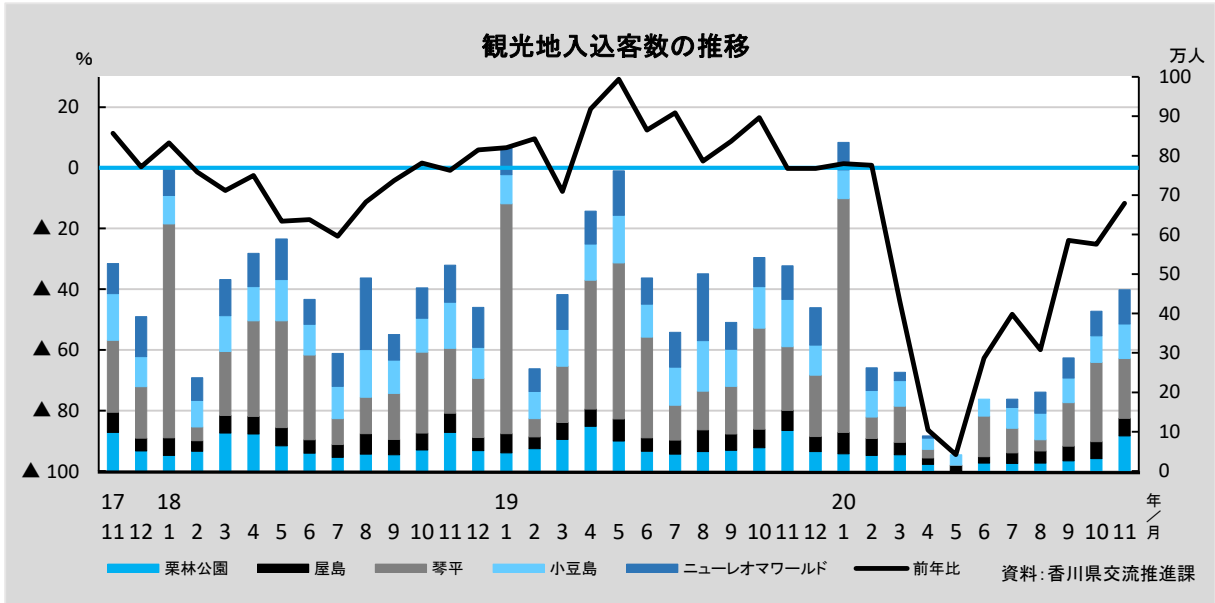


11月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が65,923人（前年同月比▲51.3%）となり、10カ月連続で減少した。羽田線は62,607人（前年同月比▲50.7%）、那覇線は3,316人（同▲60.9%）となった。国際線（ソウル・上海・台北線）は新型コロナウイルスの影響により9カ月連続の全面運休となった。

観光

弱いながらも、持ち直しの動きがみられる

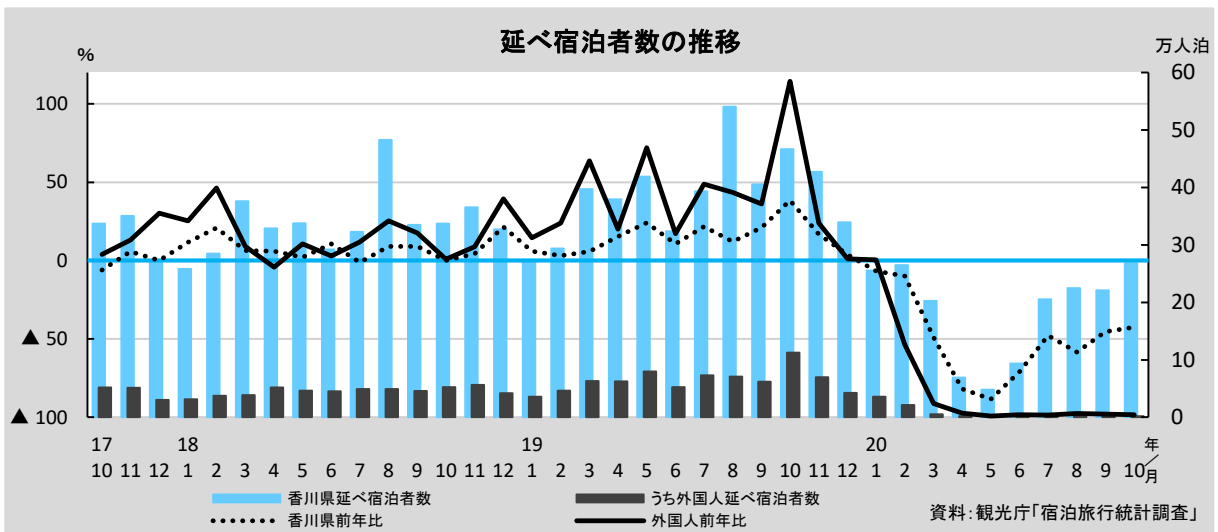
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		ニューレオマワールド		合計	
11月(人)	前年同月比	89,839	▲12.9%	44,178	▲14.0%	152,000	▲5.6%	87,416	▲27.4%	86,814	2.0%	460,247	▲11.7%
1~11月累計(人)		353,744	▲51.7%	357,842	▲26.4%	1,418,800	▲42.7%	638,405	▲40.7%	428,319	▲55.6%	3,197,110	▲44.3%

11月の主要観光地(ニューレオマワールド含む)の入込客数は、前年同月比▲11.7%と9カ月連続で減少。琴平は▲5.6%(前月▲21.5%)と持ち直しの動きがみられ、ニューレオマワールドは+2.0%(前月▲15.9%)と14カ月ぶりに増加した。1~11月の累計では前年比▲44.3%となった。

●延べ宿泊者数



10月の延べ宿泊者数は268,100人で、前年同月比▲42.5%と10カ月連続で減少した。うち、外国人延べ宿泊者数は1,780人となり、同▲98.4%と9カ月連続で減少した。